

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 734 号  
2022年 8月 1日  
発行  
アスカ工業株式会社  
〒444-0303  
西尾市中畑町卯新田上28

## 2021年度 アルミ缶リサイクル率 97%

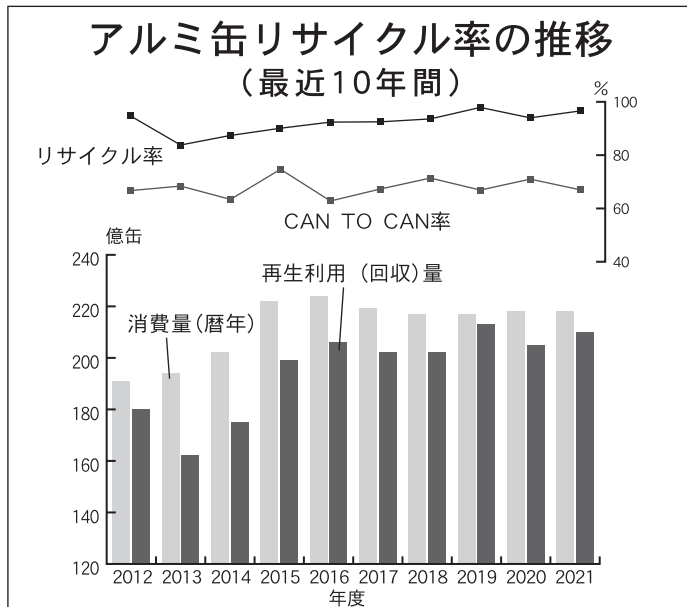
アルミ缶リサイクル協会（理事長・花房達也氏）はこのほど2021年度のアルミニウム缶のリサイクル率を発表しました。

これによれば、

- ・アルミニウム缶再生利用量  
245,262トン（161.0億缶）
- ・アルミニウム缶消費量  
①国産アルミニウム缶 325,617トン（213.8億缶）  
②輸入アルミニウム缶 6,515トン（5.0億缶）

③輸出アルミニウム缶 1,536トン（1.0億缶）  
消費量総計 ①+②-③  
330,596トン（217.8億缶）

- ・再生利用重量  
245,262トン（国内）+73,953トン（輸出）  
=319,215トン（209.6億缶）
- ・リサイクル率  
$$\frac{\text{再生利用重量 (319,215 トン)}}{\text{消費重量 (330,596 トン)}} = 96.6\%$$



- ・国内循環量でのリサイクル率  
$$\frac{\text{国内再利用量 (245,262ト)}}{\text{消費重量 (330,596ト)}} = 74.2\%$$
- ・CAN TO CAN率  
回収されたアルミニウム缶スクラップのうち、アルミニウム缶材に利用された割合。  
$$\frac{\text{缶材向け重量 (164,422ト)}}{\text{再生利用重量 (245,262ト)}} = 67.0\%$$
- ・昨年度との比較  
アルミニウム缶国内循環量 + 8.7%  
アルミニウム缶輸出货量 -13.6%  
アルミニウム缶消費量 - 0.2%  
リサイクル率 + 2.8%  
CAN TO CAN率 - 5.6%  
協会調査によると、過去10年間では2番目に高い水準のリサイクル率となりました。

夏 季 休 日  
の ご 案 内

まことに勝手ながら下記のように連休とさせていただきますのでご案内を申し上げます。

8月13日(土)より  
8月21日(日)まで

## 2022年アルミニウム缶需要 217億缶を予測

アルミ缶リサイクル協会はこのほど、2021歴年（1～12月）の飲料用アルミ缶の需要実績と2022歴年の需要予測を発表しました。

2021歴年の国内飲料用アルミ缶需要見込みは、対前年の横ばいの217.8億缶と8年連続で200億缶の大台を維持しました。

国産缶は213.8億缶で同比0.5%の増で、内訳を分業別でみると、ビール系（発泡酒・新分野含む）は94.1億缶で同比1.2%の減でした。新型コロナウイルスの影響もあり、国内ビール類の総需要は前年割れが続きますが、ビール類系の缶需要は家飲みが堅調に推移し

て微減にとどまりました。

その他アルコール向けは51.5億缶と対前年比6.0%増、非アルコール向けは1.0%減の68.2億缶の見通しです。

2022年の飲料用アルミ缶需要は、国産缶の出荷量は前年の横ばいの213.8億缶との見通しです。アルミ缶の需要を支えてきたビール向けは、92.3億缶と1.9%の減少にとどまりそうです。レディ・トゥ・ドリンク（RTD）などのその他アルコール向けは、54億缶と4.9%の増加を見込みます。清涼飲料系の非アルコール向けは、1.0%減の67.5億缶の見通しです。

### 日本の飲料用アルミニウム缶需要量（1～12月）

（単位：億缶、カッコ内は前年比%）

暦年		2020年実績	2021年見込み	2022年予測	
A 国産缶 出荷量	ビール(発泡酒・新分野含む)	95.2 (101.1)	94.1 (98.8)	92.3 (98.1)	
	ビール 以外の 飲料	その他のアルコール	48.6 (110.5)	51.5 (106.0)	54.0 (104.9)
		非アルコール	68.9 (91.0)	68.2 (99.0)	67.5 (99.0)
	ビール以外の飲料計		117.5 (98.2)	119.7 (101.9)	121.5 (101.5)
	小計		212.7 (99.4)	213.8 (100.5)	213.8 (100.0)
	(うちボトル缶数量)		22.3 (90.3)	22.2 (99.6)	22.5 (101.4)
B 空缶輸入力		1.8 (257.1)	0.9 (50.0)	0.9 (100.0)	
C 実缶輸入力		4.0 (105.3)	4.1 (102.5)	4.1 (100.0)	
D 実缶輸出力		0.6 (54.5)	1.0 (166.7)	1.0 (100.0)	
E 国内需要量計 (A+B+C-D)		217.9 (100.3)	217.8 (100.0)	217.8 (100.0)	

## 令和3年度

# アルミニウムと珪素の輸入

このほど令和3年度（令和3年4月から令和4年3月まで）のアルミニウムと珪素の輸入通関実績が下記のように発表されました。（単位 トン）

輸入数量を品目別に前年度と比べると、

アルミニウム地金	124.5%
合金地金	125.5%
アルミと合金のくず	136.6%
珪素	122.2%

と、すべての品目が増加しました。

昨年秋から年明けまで続いた、中国からの珪素調達不安も一服しましたが、他国からの輸入も検討課題。中国一辺倒だったアルミ合金の輸入は、他諸国へのシフトが進みました。

ウクライナ情勢の緊迫が続く中、合金地金輸入の依存率23%のロシアからの供給が困難な現状で、需要が回復した場合の代替をどうするかは未知数です。

### 令和3年度アルミと珪素の輸入通関実績

#### A. アルミ地金 (99.0以上)

	令和3年度	令和2年度
①オーストラリア	368,769	274,148
②ロシア	217,096	253,822
③アラブ首長国	178,789	112,683
④サウジアラビア	142,828	98,951
⑤ブラジル	137,741	125,419
⑥ニュージーランド	128,993	123,287
⑦インド	94,018	47,252
⑧バーレーン	64,146	5,986
⑨マレーシア	61,659	34,322
⑩南アフリカ	46,141	35,752
⑪その他	31,886	70,795
⑫合計	1,472,066	1,182,417

#### B. 合金地金

①ロシア	266,339	197,705
②アラブ首長国	249,067	174,685
③中国	94,686	155,498
④ナイジェリア	70,735	48,695
⑤マレーシア	61,948	30,707
⑥インド	54,911	17,213
⑦オーストラリア	50,498	45,339
⑧ニュージーランド	36,175	35,436
⑨台湾	29,997	30,707
⑩スペイン	28,402	24,755
⑪その他	193,569	144,867
⑫合計	1,136,327	905,607

#### C. アルミとアルミ合金くず

	令和3年度	令和2年度
①アメリカ	26,810	20,606
②台湾	13,660	10,314
③韓国	6,549	1,619
④マレーシア	4,419	4,402
⑤メキシコ	4,039	3,480
⑥イギリス	3,635	1,668
⑦イタリア	3,001	2,891
⑧カナダ	2,472	2,549
⑨フィリピン	2,215	1,019
⑩タイ	1,819	846
⑪その他	10,402	8,464
⑫合計	79,021	57,858

#### D. 珪素

①中国	180,036	145,002
②ノルウェー	19,000	18,416
③ブラジル	10,293	10,400
④オーストラリア	7,358	7,570
⑤マレーシア	5,129	1,887
⑥ラオス	1,780	40
⑦アメリカ	534	1
⑧ロシア	480	200
⑨アイスランド	101	0
⑩フランス	100	115
⑪その他	87	371
⑫合計	224,898	184,002

## 大提灯まつり

西尾市一色町の諏訪（すわ）神社で、8月27日、28日天下の奇祭「大提灯まつり」が行われます。

その昔、この辺りの海岸に出没した海魔の退散を祈願した大かがり火が起源と伝えられ、12張りの大提灯に大ロソクで点火する時が最高潮。(写真)



## 社内情報

- ◎夏季休日を1頁のご案内のように行いますので、ご協力の程よろしくお願い致します。
- ◎半導体不足、部品不足でカーメーカーの減産が続く中、毎週、生産調整日を設けました。関係先の皆様には、ご協力頂きありがとうございます。
- ◎80周年記念祝賀会の際に多くの皆様から、「今年はアスカセミナーを開催して下さい。」とのお声を頂きました。営業部にて開催形式を模索中です。

## 編集後記

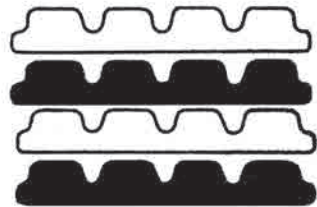
- ☐暑中お見舞い申し上げます。
- ☐市内吉良町ワイキキ・ビーチで8月24日から27日まで、ハワイアン・フェスティバルが開催されます。
- ☐全国から集まったフラダンス愛好家参加による「ホイケ」と呼ばれるフラ発表会が行われる予定です。キャッチフレーズは「西尾市吉良町でハワイを堪能しよう！」
- ☐久しぶりの開催が期待されます。

## アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。

ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

## アスカ工業株式会社



〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>